

教科名	数学	科目名	数学 I	
対象	全スタイル	年次	2、3	
添削指導(回)/年	9	面接指導(単位時間)	3、4	
単位数/年	3	備考	必履修科目	
教科書・補助教材等	数学 I Advanced (東京書籍 701)			
学習の目的	数と式、集合と論証、2次関数、図形と計量、データの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する能力を育てる。			
年次	学期	月	学習内容	学習のねらい・目標
2	前期	4	1章 数と式 1節 式の計算 1 単項式と多項式 2 多項式の加法・減法・乗法 3 因数分解	・高等学校における数学の学習を進めるために、中学校で学んだ文字式やその計算について、体系的にまとめる。
		5	2節 実数 1 実数 2 根号を含む式の計算 3節 1次不等式 1 不等式とその性質 2 1次不等式の解法 3 不等式の応用	・根号を含む式とその計算について、体系的にまとめる。 ・1次不等式と連立不等式の解法を学ぶ。
		6	2章 集合と論証 1節 集合 1 集合 2節 命題と論証 1 命題と条件 2 論証	・集合の考えについて学ぶ。 ・中学校で学んだ集合の考え方をを用いて捉えなおし、命題と条件について基礎を学ぼう。
		7	3章 2次関数 1節 関数とグラフ 1 関数 2 2次関数とそのグラフ 3 2次関数の最大・最小 4 2次関数の決定	・2次関数のグラフから最大値や最小値を求められるようになる。
		9	2節 2次方程式・2次不等式 1 2次方程式の解法 2 2次方程式の実数解の個数 3 2次関数のグラフとx軸の共有点	・解の公式の利用。 ・判別式を使って実数解の個数を求める。
	後期	10	4 2次不等式 5 2次不等式の応用	・不等号の性質を理解し2次不等式を解く。

年次	学期	月	学習内容	学習のねらい・目標		
2	後期	10	4章 図形と計量 1節 鋭角の三角比 1 直角三角形と三角比 2 三角比の相互関係	・正接・正弦・余弦の性質を理解する。 ・三角比の相互関係を理解する。		
		11	2節 三角比の拡張 1 三角比と座標 2 拡張した三角比の相互関係	・角度から三角比を求める。 ・三角比の相互関係を理解する。		
		12	3節 三角形への応用 1 正弦定理 2 余弦定理 3 三角形の面積 4 空間図形の計量	・正弦定理や余弦定理を理解し、それを利用して角度や長さを求められるようになる。		
		1	5章 データの分析 1節 データの散らばりの大きさ 1 データの分析とグラフ 2 分散と標準偏差 3 分散、標準偏差の性質	・箱ひげ図、四分位数、分散、標準偏差の性質を理解する。		
		2	2節 データの相関 1 散布図と相関係数 3節 データの分析の応用 1 データの分析を利用した問題の解決	・データの散布図と相関係数について理解しデータの分析をできるようにする。		
		3	総復習	1年間の総復習		
		学習上の留意点			一人でも多くの生徒が数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断できるようになってもらいたい。	
					評価の観点	評価方法
		主体的に学習に取り組む態度			授業、課題学習のぞむ態度など。(数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする姿勢)	レポートの評価、面接授業の参加状況と定期考査の出題範囲における習得の状況を評価から、総合的に評価する。
		思考・判断・表現			定期考査、授業中の質問に対する回答、レポートの考察など(数学的な見方や考え方を身に付けているか)	
知識・技能			学習課題、レポートなど。(事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けているか) 定期考査、小テストの成績、レポートなど。(基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けているか)			